
プシコスタジー

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プシコスタジー

【Nコード】

N5747K

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

この心臓をえぐりましょう。

苦痛などありません。

私は解き放たれるのです。

そして、アナビスのラーの天秤に乗せるのです。

この心臓をえぐりましょう。

苦痛などありません。

私は解き放たれるのです。

そして、アヌビスのラーの天秤に乗せるのです。

マアトの羽根よりきつと私の心臓は重いです。

いえ、重くなくてはいけません。

そして、私の心臓はアーマーンに喰われるのです。

私は贅なる身。

喰われることに何の感慨もわきません。

胸だろうが、足だろうが、尻だろうが、何処となりとも喰らうとい
い。

けれど、願わくば。

この思考する脳と物を見る右目、そしてものを書き遣す指だけは残
してはもらえないだろうか。

私にはこれしかないのだ。

これだけあればいい。

透明なケースの中で、私は様々な機械に鎖で繋がれる。

私の心臓は未練がましく、この動かない手に、思考しない心に、物
見ぬ瞳にすがりつく。

さあ、私の心臓をえぐりましょう。

そして、生命の呪縛を逃れた私の指は、目は、脳みそは、縦横無尽
に駆け回る。

世界中に殴り書く詩。

謳おう。

希望を、絶望を、愛を、裏切りを、嫉妬を、友情を、幸福を、不幸
を、欺瞞を、怠惰を、信念を、喜びを、怒りを、虚しさを。

そして、忘却の風と共にすべて忘れ去られる。

ああ、命とはかくに残酷なものなのか。

この心の臓の痛みが永劫続くと言つのなら、それは幸福な事か？
散りゆく命はただ不幸なだけか？

それとも命そのものには、そのどちらもありませんか？

何の意味も無い。

そこにあるだけの存在。

だからこそ私の心臓はこの朽ちようとする体にすがりつくのか。

さあ、心臓をえぐりましょう。

否、生きたい。

さあ、心臓をえぐりましょう。

まだ、私は何も掴んでなどいない。

希望も、絶望も、愛も、裏切りも、嫉妬も、友情も、幸福も、不幸も、欺瞞も、怠惰も、信念も、喜びも、怒りも、虚しさも。

生きたい。

生きていたい。

そして、動かないはずの手が掲げられる。

小さき赤子が透明なケースの中で、母の温もりを求め、空を掴んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5747k/>

プシコスタジー

2010年10月14日20時21分発行